

# 「サイクルシェア」で好循環を

詳しくは、  
市ホームページで



平成29年から市内中心部で実施している電動アシスト付自転車のサイクルシェア事業は、本市を訪れる若いかたを中心に高い利用率を誇っています。事業で導入しているシェアサイクルサービス(HELLO CYCLING)での自転車1台当たりの売上金額は、東京や大阪を上回り日本一となっています。その一方で、利用率が高いために自転車が不足している状況が続いていたことから、新たに自転車を50台導入して計103台とし、より多くのかたに利用いただけるようにしました。

また、大河ドラマ「どうする家康」では、古沢良太さんが描く若き家康公が話題となっており、家康公生誕の地の本市をこれまで以上に多くの観光客に訪れていただく千載一遇のチャンスと捉え、ドラマでも描かれた大樹寺に最も近い大門駅や大河ドラマ館のある岡崎公園にアクセスしやすい中岡崎駅など、より利用しやすい場所に注目して新たなステーションを設置しました。

環境に優しく健康にもよく渋滞対策にもなる「サイクルシェア」を多くのかたに利用いただき、市内を回遊してもらうことで経済効果がもたらされるよう、好循環の創出に取り組んでいきます。



岡崎市長  
中根 康浩